

土門 剛



土門 剛 どもん たけし

【プロフィール】

1947年大阪市生まれ。早稲田大学大学院法学研究科中退。農業や農協問題について規制緩和と国際化の視点からの論文を多数執筆している。主な著書に、『農協が倒産する日』（東洋経済新報社）、『穀物メジャー』（共著／家の光協会）、『東京をどうする、日本をどうする』（通産省八幡和男氏と共著／講談社）、『新食糧法で日本のお米はこう変わる』（東洋経済新報社）などがある。大阪府米穀小売商業組合、「明日の米穀店を考える研究会」各委員を歴任。会員制のFAX情報誌も発行している。

TPPと農協改革に反対

1月の佐賀県知事選。とにかく安倍官邸が擁立した候補が悪すぎた。武雄市長の樋渡圭祐候補だ。4万票近い大差で打ち負かしたのは、農協組織などが擁立した山口祥義候補だった。TPP交渉、農協改革、オスプレイ配備、玄海原発再稼働、争点はぼやけてしまったが、安倍官邸に刃向かった農協組織の突出ぶりだけが目立った。

知事選敗北の敵は福井経済連の談合事件で 安倍官邸の報復が始まった

質問 争点はなんだったのか。

土門 強いて言えば、安倍晋三首相の強権的な政治手法かな。保守地盤でも強権的なアベノポリティクスが嫌われたということにもなる。造語の主、御厨貴・放送大教授は、「暴走政治」と定義づけている。その暴走政治に、佐賀県民でさえ「ノン」と示してきたというのが、選挙結果の総括のようなもので、農協改革やTPP交渉の争点は置き去りにされてしまった。

質問 山口候補を農協組織が担いだ経緯は？

土門 ネットメディアによると、昨年12月29日の山口候補の個人演説会・決起大会で、佐賀県農政協議会の中野吉寛会長は、県内9つすべての自治体の市長または議長から、「候補者を選ぶにあたって加勢をしてくれ」と要請されたことを明かしている。これは額面通りに受け取れない。勝ち馬に乗るタイミングを計っていたという見方もあれば、アヒルの水かさよろしく、水面下で候補擁立を画策していたという見方もある。

質問 中野会長って、全農会長のあの方か？

土門 その中野会長だ。広域合併の佐賀県農協が出身母体で、県の農協中央会、信連、共済連など5つの連合会のトップと、2011年7月から全農会長に就いている。農協界のドンの一人だ。

質問 それにしても「加勢してくれ」とはプロらしい発言だな。

土門 事の始まりは昨年11月25日、総選挙出馬のため古川康前知事が辞任したことだ。その時点では、後継を争う候補者が2人いた。ひとりが

武雄市長だった樋渡氏。もうひとりには財務省出身の佐々木豊成・TPP政府対策本部国内調整総括官だ。樋渡氏は、自民党への推薦願を同17日、佐々木氏は同29日に提出した。樋渡氏に一本化された経緯は、1月12日付けのプレジデント誌が詳しい。

「知事選には財務省出身の佐々木豊成・TPP政府対策本部国内調整総括官が出馬予定だったが、（昨年）12月1日、官邸の圧力で出馬見送りに追い込まれた。知事選では、同県武雄市の樋渡啓祐市長も党県連に推薦願を提出。一方で樋渡氏は菅義偉官房長官に佐々木降ろしを働きかけたとされる。結局、『TPP（交渉）を成功に導くため手伝ってもらいたい』と甘利明経済再生担当相に頼まれる形で、佐々木氏は立候補を断念させられた（自民党代議士）」

質問 そこから保守分裂が起きたわけか。

土門 地元を無視した安倍官邸の樋渡氏の擁立に農協組織や保守系県議の一部が反発。急遽、農協組織が中心となって対抗馬探しに入った。総務官僚の山口氏に白羽の矢を立て、出馬表明したのは12月15日、投票日の1カ月前を切った時点だった。

質問 政策のすり合わせは？

土門 争点としては、TPP交渉、農協改革、オスプレイ、原発再稼働

の4点あったが、選挙戦で山口氏が明確に態度を表明したのは、PPP交渉と農協改革だった。中野会長が口にした「加勢してくれ」は、逆に結集した反樋渡陣営へそれらに反対してもらおう要請ではなかったかな。これを裏付けるのが、山口氏の発言。PPP交渉については、選挙前に、「来たるべき時代は、農林水産業。PPPはしっかり反対して、守っていききたい」と発言し、農協改革についても「『地方でしっかり話し合った上で進めるべきだ』と語り、政権側を牽制（けんせい）した」（1月13日付け産経新聞）という。これで安倍官邸VS農協組織の争いという構図ができ上がったしまった。

質問 選挙を取り仕切った菅官房長官も面目丸つぶれだな。

土門 安倍官邸にとって最大の屈辱は、佐賀県農政協議会の中野会長に安倍政治をことごとく否定されたことかな。昨年12月29日、山口候補の個人演説会・決起大会での、この発言は安倍官邸を挑発したようなものだった。

「『農協が駄目』『PPPは賛成』『有明海諫早干拓の開門には反対』『オスプレイは大賛成』『原発も賛成』だと言っている人を、私達が応援するわけにはいかない」（独立系ネットメディア）

質問 共産党と同じではないか。

土門 こういう人のことを、世間では、夜郎自大と呼ぶ。そのことを中野会長はご存知ないだろうな。農協を甘やかしてきたから、政治にうつつを抜かず指導者ばかりだ。それが誰の責任か。安倍首相や菅官房長官はよく考えてみるのだ。

質問 選挙結果で政権内部に内輪揉めが起きているとか。

土門 そんな話もちらほら聞かえてくるね。樋渡氏の擁立を決めた菅官房長官に首相周りで批判が集まってくる、1月18日付け日刊ゲンダイ紙はこう伝えてきた。

「まさかの佐賀県知事選惨敗で、安倍官邸から不協和音が漏れ始めた。ズバリ安倍首相への菅官房長官の軋轢だ。8年前の『官邸崩壊』の再現になるという見方もある」

投票日翌日（同12日）の大手紙は「農協改革、PPP、統一選に影」（産経新聞）、「佐賀知事選、政府与党に打撃：農協改革に影響も」（読売新聞）と論評するが、筆者は逆の見方だ。安倍首相の性格を考えると、農協改革とPPP促進にターボチャージャーをかけてくるという見立てだ。とりわけ大恥をかかされた菅官房長官の動きは要注意。あれだけやられたら、強烈なりベンジを仕掛けなくてはなるぞ。

質問 相手は中野会長か？

土門 当然、標的にされても不思議ではない。ところが、間髪入れずに仕掛けてきたリベンジの相手は福井だった。知事選敗北から5日目の1月16日付けで各紙が報じたJA福井県経済連による談合事件の記事、覚えていかな。カントリーエレベーターの工事に絡む入札談合で公正取引委員会（以下、校取委）が排除措置命令を出したという内容だ。

質問 リベンジで佐賀と福井がどう結びつくのか？

土門 それは追々説明するとして、まず朝日新聞が報じた「JA福井経済連、うその書類で補助金申請 公取委調べ」の記事を読んで欲しい。

「福井県内の農協が発注するコメの貯蔵施設『カントリーエレベーター』（CE）などの改修工事で、JA福井県経済連や一部の農協がうその申請書類を作り、農協が県から補助金を受けていた疑いのあることが公正

取引委員会の調べでわかった。公取委は補助金適正化法違反にあたるため、16日に県に通知した」

質問 そういえば、官房長官は公取委を監督する立場にあるね。

土門 正確にはそうではない。公取委は、内閣官房を補佐する内閣府の外局だ。確かに監督する立場にあるが、その職務の遂行について独立性

が保たれている。でも、それは表面のことであって、政府の一員として、首相や官房長官の顔色を見ながら仕事をすることもある。

質問 もう少し詳しく知りたいな。

土門 実は、1月16日付け各紙報道は二番煎じだ。同じ内容の記事が、昨年11月21日付けで報じられていたからだ。そのときの朝日新聞（1月22日付け）の見出しは、「コメ施設入札 排除命令」だった。これと比較すると、大きな違いは「うその書類で補助金申請」という新たな事実が付け加えられた点だ。

質問 これって犯罪行為だね。

土門 まず公文書偽造と同行使。そして、その公文書を使って補助金を詐取したから詐欺罪にあたる。これが罪に問われないなら警察は要らないぞ。

やり過ぎた政治関与

質問 誰がリークしたのか？

土門 それが最大のポイントだ。その前に、「農協と談合」について説明しておく必要がある。農協は、独占禁止法の適用除外を勝手解釈して、談合などやりたい放題だ。ある意味、競争政策の治外法権のような扱いを受けている。このケースも、福井県経済連に調査が入ってすぐに、公取委は事実をつかんでいて、

福井県にも報告があったはずだ。昨年11月の時点でそれを公表しなかったのは何か裏があると見るべきだ。

質問 その裏が知りたいね。

土門 報復対象に農協政治運動を裏で操るドンが狙われたのだ。全国農業者農政運動組織連盟(全国農政連)

の山田俊臣会長だ。昨年3月までは福井県経済連の会長職にもあったが、謎の突然辞職に追いこまれていく。農協組織が、T P P交渉を潰すような反対運動をしてきたら、山田会長にその事実を公表するぞと脅して、政府の方針に従わせようというシナリオがあったのだから。でも最初は、T P P交渉のために用意してあったが、佐賀県知事選で安倍官邸に刃向かい、大恥をかかせたものだから、このタイミングでの官邸筋のリークとなったのだろう。

質問 山田会長はどう動くかな。

土門 もう年貢の納め時だよ。1月16日付けの新聞各紙に目を通して背中がヒヤツとしたに違いない。昨年3月に福井県農協五連会長を突然辞任したのも、入札談合と補助金詐取と関係があるとみてよい。13年6月に再任されて9

土門 辛聞

カ月しか経過していないこともあって、とにかく、苦しい辞任

の弁だった。

「4月に78歳になるが、(同管理委員会長の)70歳定年を県5連会長ということで延長してもらっている。それがずっと心にあつた」(14年3月23日付け福井新聞)

質問 不自然な弁明だね。

土門 実はこのとき、福井県経済連は理事が6人も一緒に辞めている。その理由は、農協には何も説明されていない。今でも「辞めざるを得なくなった」とか「とてつもないことに引かかった」という噂話が福井県農協界に飛び交っている。

質問 山田さんの事情聴取は？

土門 やろうと思えばできたはずだ。出身の福井市農協の工事も対象になっているし、何よりも経済連トップとして7年間も君臨していた。談合の経緯を事情聴取するのに、トップを呼ぶことはよくある話だ。それがなかったというのは、山田会長と理事6人が引責辞任するという

ことで、一種の「政治取引」のようなものが、公取委を通じて安倍官邸と交わされていたとしか思えない。

質問 その山田会長に選挙協力で頭を下げた政治家がいたね。

土門 福井1区選出の自民党・稲田朋美政調会長だね。農協改革を唱えているが、その農協に選挙支援の願

い。この方には、公取委から報告がなかったのか、昨年11月28日、稲田政調会長が山田会長のもとに赴き、総選挙での農協組織の支援を要請していた。福井県農政連の推薦を受けた経緯を同日付け毎日新聞はこう書いている。

「農政連は推薦の条件として農協改革に反対する政策協定書の締結を求めていたが、稲田氏が了承せず、拘束力のない要望書を農政連が近く提出することで折り合った」

「稲田氏は28日、福井市で開かれた県農政連の幹部会に出席し『農協改革は農業者の自由度を高め、生産性向上につながる』と説明した。農政連側は「農家をばかにしているのか」と反発したが、稲田氏が党政調会長として米価対策に関わっていることに配慮し、最後は譲歩した」

質問 どっちが政治家かわからないけど山田会長の応対は堂に入っている。今後の展開はどうなるのか？

土門 事は悪質すぎるし、新聞沙汰にもなったので、安倍官邸はこのまま頼破りというわけにはいかないだろう。1月16日付けの朝日新聞は、「16日に県に通知した」と書いている。

福井県に告訴を指示したのも同義だ。さらに米・麦の乾燥や貯蔵をする施設の改修で、「11〜13年度に実施された57件のうち、15件はJ A

福井市などが業者へ直接発注したが入札自体が行なわれておらず、入札書など関連書類を同経済連と協力して偽造していた」(1月16日付け毎日新聞)という事実が報じられている。これはもう立派な刑事事件だ。補助金適正化法だけでなく公文書偽造・同行使と詐欺罪でも告発してやることだ。それが農協改革の一丁目一番地になる。それでなくても法治国家であることを農協組織に知らしめてやって欲しい。補助金適正化法でも「偽りその他不正の手段により補助金等の交付を受け(た者)」は、「五年以下の懲役若しくは百万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する」という罰則がある。福井県経済連は、もうここまでくれば法網から逃れないだろう。

質問 そのうち佐賀県にも公取委の調査は入るのか。

土門 そんなことは菅官房長官に聞いてくれ。それより次は中野会長の全農が血祭りに上げられるだろう。全農の株式会社化だけでなく、独占禁止法をもっと厳しく適用してやれという声が強くなるだろう。その前に全農会長を辞めさせられるかもしれないぞ。とにかく佐賀県知事選の惨敗ショックで手負いの猪みたいになっている。

質問 期待しているよ。